

ぜんがくねんしかしどう おこな 全学年歯科指導を行いました！

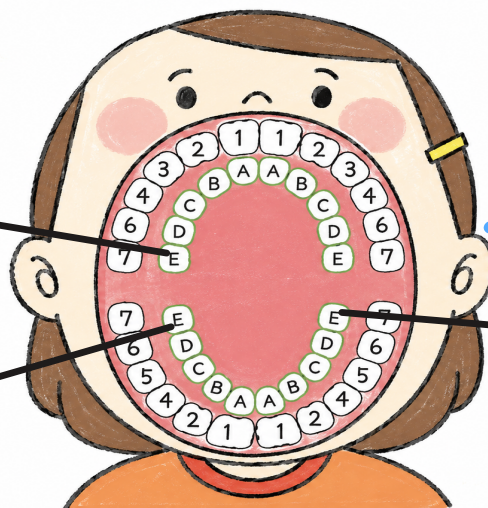
6月4日～10日の「歯と口の健康週間」に合わせて、1～6年生全ての学年で歯科指導を行いました。

今回は、5月の歯科検診の結果を1人ずつ歯式に記入し、自分の口の中の様子を確認しました。また、染め出しを行い、磨き残しが多い場所や自分に合った歯みがきのポイントについて学習しました。

むし歯が多かった場所 TOP3 ～南西小～

1

右上の奥歯E(乳歯)
むし歯：13本



歯科検診の結果から、
奥歯がきちんと磨けてい
ないことが分かります。意
識してはみがきをしましょう！

2

左下の奥歯E(乳歯)
むし歯：11本

3

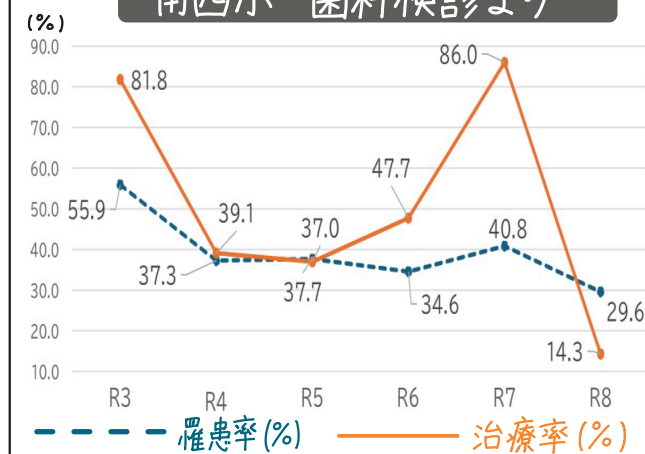
右下の奥歯E(乳歯)
むし歯：9本

【見方】 外側にある歯(1～7)は、永久歯(おとなの歯)
内側にある歯(A～E)は、乳歯(こどもの歯)

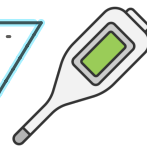
しかけんしん けっか 歯科検診の結果より

今年の歯科検診でむし歯があった児童は34人で、
昨年より20人以上少なくなりました！グラフを見ても
分かるように、昨年は治療率がとても高く、多くの子ども
達が歯科医院を受診しています。むし歯は治療しないと治ることはありません。ぜひ、早めに治療を
開始していただき、今年は無し歯治療率100%を達成できるようご協力をよろしくお願いします。

南西小 歯科検診より



夏に多い感染症



南西小では、感染症の報告はほとんどありませんが、熊本県全体では特に麻しん手足口病・ヘルパンギーナが増加傾向にあるようです。ウイルス感染によって起こる病気で、他人への感染力も強いです。体調が優れない時は、必ず受診をして、医師の診断を受けるようにしましょう。

ヘルパンギーナ



- 突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ぼう、口内炎が特徴。
- のどの痛みが原因で飲食を嫌がる・水分がとれないこともある。
- 症状のピークは感染後2~3日で、発熱やのどの痛みが最も強くなる。

◆登校再開の目安◆

発熱がなく、全身状態が安定、食欲もある

手足口病



- 38~39℃の発熱と手足や口腔内にできる小さな水疱が特徴。
- 発熱1~2日後に手のひら、足の裏、口の中、おしり、肘、膝などに発疹が現れる。
- 発疹は、小さな赤い斑点や少し盛り上がった赤い発疹として始まり、その後、中心が白っぽく見える水疱になることが多い。

◆登校再開の目安◆

発熱がなく、全身状態が安定、食欲もある

咽頭結膜熱(プール熱)



- 咽頭炎(のどの痛みや発赤)、結膜炎(眼の充血や痛み、めやになど)、高熱の3つが主な症状。
- 1日の間に39~40℃の高熱と37~38℃前後の微熱の間を上がり下がりすることが4~5日ほど続くことがある。
- 家族内で感染が広がることもあるため、タオル、ベッドのシーツなどの共用を避ける。

◆登校再開の目安◆

主要症状(熱や目の症状)が消退した後2日を経過してから

すい
水

ぶん
分

ほ
補

きゅう
給

のベストタイミングとは?

のどが渴いたと感じる水分不足のサイン。これって、実は脱水が始まる前兆なのです!! 気づかなかったり、無視してしまうと、熱中症になることもあります。できるだけこのサインが出る前に水分をとるほうが体には良いですね。

いづもより > 水分をたくさんとったほうが良いタイミング

寝る前や起きた後

入浴の前後

スポーツの前後・途中

